

寺  
ごよみ

十月

|         |         |
|---------|---------|
| 一<br>日  | 板屋お講    |
| 五<br>日  | 栗虫報恩講   |
| 六<br>日  | 仏教入門講座  |
| 八<br>日  | 富山滑川報恩講 |
| 一〇<br>日 | お道具磨き   |
| 一一<br>日 | 魚津報恩講   |
| 一二<br>日 | 経田柳沢窪野  |
| 一三<br>日 | 田家報恩講   |
| 一五<br>日 | 清掃奉仕    |
| 一六<br>日 | 三日市お講   |
| 一七<br>日 | 米とぎ     |
| 一八<br>日 | 報恩講準備   |
| 一九<br>日 | 報恩講     |
| 二〇<br>日 | 報恩講ご満座  |
| 二二<br>日 | 真照寺報恩講  |
| 二四<br>日 | 東狐報恩講   |
| 二五<br>日 | 称名寺報恩講  |
| 二七<br>日 |         |
| 二八<br>日 | 飯野芦崎報恩講 |
| 三〇<br>日 |         |

寺報

善 巧

発行

〒938-0862 富山県  
黒部市宇奈月町浦山497  
白雪山 善 巧 寺  
TEL (0765) 65-0055  
FAX (0765) 65-0975  
メール info@zengyou.net  
URL http://www.zengyou.net



「報恩講」10月19日夜のお座は絵解き説法です。

報恩講

十月十九、二十日

十一月四、五日

空華忌

今年祖母の三回忌と父の十七回忌でした。父の遺した言葉や写真、映像は今もうちの家宝として残っています。その中で、著作「お茶の間説法」を朗読したテープがあり、これをうちの中だけに留めておくのはもったいないということ、去年からインターネット配信を始めました。すると、予想を超えて聞いてくださる方が多く、多い時では日に二千人以上のアクセスがあります。

## 変わらない凄さ

ります。ただ、あまりにも縁遠くなったせいで、逆にそれが今新鮮なものとして受け取る人たちが出てきました。

上辺の文化に覆いかぶさられた国で、突然個性が謳われても無理難題。欧米への憧れも徐々に薄れつつある今、情報はテレビ・新聞からインターネットへ。私って一体なんだろう？という自分探しが一時流行りましたが、そんな中で、足元にあった仏教に興味を示す人たちが出てきて、もなんらかおかしな話ではありません。

お寺や仏教が、今の若い人たちにとって抹香くさいものではなく、むしろ新鮮な魅力をもった仏教の伝統として、好意的に受け入れられていると強く感じます。

時代に左右されず「変わらない」教えが今目の前にあるというのを再確認いたしましょう。

雪山 俊隆

平

花

# お説教好きですか？

雪山隆弘



「コレッ！ なにやっ  
てんのよ。さっさとしな  
きや、ダメじゃないの」  
あなたのこんなお説教  
を聞いて（そうか、ぼく  
は間違っていたんだな。  
それでお母さんは、ボク  
をしかって、正しい道を  
あゆませようとしている  
んだな。ああ、親なれば  
こそだ。お母さんありが  
とう！）などと、子供が  
思ったりするだろうか？  
「いいかいキミ、僕は

キミの為を思っているん  
だよ。キミの将来を考え  
ればこそ、こんなことも  
いわなきゃならないんだ」  
こんな上役の説教を聞  
いて、素直に（ハイ、反  
省します）といえますか？  
「ねえ、あなた、わかっ  
てちょうだい。わたし、  
あなたがイヤで、こんな  
こというんじゃないのよ。  
ただ、この家には二人の  
女がいて、これから仲良  
くやってゆかなきゃなら  
ないから、心を鬼にして  
いうんですよ」  
姑さんのこんなお説教  
を聞いて、あなたは（あ  
あ、母さん、ありがとう。  
わたしがいけなかったん  
だわ。鬼どころか、ほと

けさまだわ！）なんて思  
えますか？

お説教——かたくる

しい教訓的なお話で、上  
のものが下のものへ、正  
しいものが間違っている  
ものへ、お前はダメなん  
だ、ということを再確認  
させるようなところがあ  
って、できることなら、そ  
んな押しつけの説教は死  
ぬまで聞きたくない、と  
いうのが、私達の本音の  
ようであります。

つまり、人間はいつも  
自分を認めて生きている。  
自分に丸をつけて生きて  
います。自分が上で他人  
が下と考える、これを  
“慢”といいます。その  
慢にもいろいろありまし  
て、「やったア！ 勝つ  
た勝った」と、単純に有  
頂天になるのを“我勝慢”  
。「ハハ、大臣も女優さ  
んも、ワタクシもメシ食  
つて、出して、寝る、同じ  
やねー！」

さて、三つ目の慢は  
“我劣慢”——  
「困ったわあ、どうし

ましょ。わたし、奥さん  
に負けちゃった。ほーん  
と、かなわないわ」

なんて、負けた負けたと  
いつてるけど、本心、ちっ  
とも負けたと思っていない。  
ほんの一部はあなたに劣  
っているけど、あとの大部  
分は、わたしの方が上、  
と自慢するのを我劣、あ  
るいは“卑下慢”という  
んだそうです。

ところで、こんなエグ  
イもの、だれが持ってい  
るのかと申しますと、生  
きとし生けるものみなす  
べて、だと、仏様がおつ  
しゃる。あなたも、わた  
しも、煩惱具足でありま  
す。具足というのは、一  
つとして欠かさずに持っ  
ているということであり  
ますが、これに気がつか  
ないのがあわれ凡夫のわ  
たしなんです。

で、つまりは、私達は  
他人に「お前はペケだ」  
なんていわれるのは大嫌  
いなのでありますが、逆  
にお説教する方はいう  
と、これはもう大好きで、

そういう人間は、私をふ  
くめてあなたのまわりに  
もゴマンといるんじゃない  
ですか。いや、ひよつ  
としたら、あなたもふく  
めてかな？

どっちが欲深いのか

うちのお寺に、お講と  
いうのがあります。月に  
二度、一日と十六日に開  
かれる法座で、もう何百  
年もつづいています。戦  
前までは全国各地にあつ  
たようですが、近頃はも  
うめずらしいものになっ  
てきています。

ところで、このお講に  
は楽しみがひとつありま  
して、それは、住職や若  
院のお説教といたいが  
そうではなくて、お昼の  
お斎（とき）であります。  
各地区の当番が腕ふるつ  
てごちそうを作って下さ  
います。

音沢（地区）の青物お  
講は山菜がいっぱい。そ  
してもうすぐ中陣（地区）  
のじゃがらお講——新

じやがのホクホクの煮つけが出ます。御膳料はなんと百円ポッキリで食べ放題。うれしいかぎりであります。

朝——。七時を過ぎると、ぼつぼつ当番地区の方が米や材料をかついでこられます。

「お早うございます。年に一度のお講当番に参らせてもらいましたつちや」

「あー、あんた、ようこそこられましたわね」てな調子で、いよいよ仕事が始まります。コシヒカリをバケツにあけて、シャッシャッシャッと米をとぐ。その手に合わせて、二十人余りのご婦人方があいさつをかわします。

「あら、あんた参られた？ ばあちゃんマメなが？」

マメなが？というのつまり、まめに暮らしているか、元氣か、という意味でありまして、まあ、そんなあいさつがずうっとひとまわりするわけな

んです。ま、出席者の確認というところ。

で、米とぎの時はいいんだけど、ダイコンやイモの皮をむくところになると、ちよつと変わってくるんです。

「ありや、ちよつと、あの人は？」「ほんとや、来とらんぜ」「そういや、あの人もやぜ」

と、欠席者の確認になってくる。でもまあいいじゃないの、たくさん来てるんだから、みんなでやれば軽いもんよ、となるかと思う、そうはいかない。「そうよねー、年に一度のご奉仕なんにねー。どうして来んがやろねエ」

と、そのうち「そら、あんた、あの人の、欲やもン」というささやき声。よくわかるのね他人の欲は。つまりその人、パートに出ていったらしいんです。で、最後はどうなるかというと「そら、やつぱり、休んだ人からは罰金もらわんにや！」であります。

山寺のほのぼのお講も、このあたりからじつにナマナマしくなっているわけですが、さて、そこで考えていただきたいのは、いったい、どちらが欲か、ということなんです。

年に一度のお講当番をサボってパートに走った人が欲なのか、それとも、お米洗って出席者の確認、ジャガイモむきむき欠席者の裁判をして、その人

を欲と決めつけ、あげくに罰金とろうと欲している方はちつとも欲深くないのか、ということなんです。

答えはかんたんで、どちらも悪い。でも、あえていうなら、パートの方は、会社で少し気がとがめて反省の心がわいたはず。一方は自分の欲を正當行為で覆いかくして、気付かぬままに他人を裁いて慢心にひたっている。

こっちの方が悪いと思うんだけど、いかがでしょう。おしゃや様が自覚症状のない心の病気の第一に、欲をあげられたのも、こういうことだったんじゃないでしょうか。なにも、うちのお講だけじゃない。あなたのそばの婦人会や町内会やどこだって、こういうことよくありますよね。こんどから、どっちが欲か、よく考えてみよう。

## お茶の間説法が

### 審査員特別賞！

ニフティは、インターネットによる音声・映像配信「ポッドキャストイング」の個人番組コンテンツを審査員に鳥越俊太郎氏などを迎え開催した。今回が第一回目で、グラ

ンプリに輝いたのは中央大学の学生が製作した地域情報番組。審査員特別賞には、浄土真宗の僧侶が説法する番組「ポッドキャスト説法」が選ばれた。

最新の技術と説法が結びつくとは面白い」と感想を述べた。  
(日本経済新聞より抜粋)



# 永代経祠堂会

七月十六、十九日

七月十六日から十九日、例年通り永代祠堂会が勤まりました。今年のご講師は、前日十五日の前住職・前坊守の回忌法要に引き続き、大阪常見寺住職利井唯明師。浄土真宗の真髓をわかりやすくお話くださいました。また、教化部からは、昨年に引き続きお寺クイズを行い、仏教婦人会役員の方に登場していただきました。このクイズは例えば「阿弥陀如来さまは、この世の命を終えたときに、どこへ行くと言われているのでしょうか？」という質問に対して①「そりゃあ天国ですよ。『天国のあの人は今』なんてテレビでも言ってるじゃないですか。」②「いえいえ、仏教では天上界と言います。温泉に入って『極楽極楽』というでしょう。とっても気持ちのいい世

界だそうですねよ。」③「阿弥陀さまがわが国と言われるのはお浄土のことです。」と、三つの答えを解答者が答え、参拝者は自分の思う答えの番号ふだを上げるという某番組のお寺バージョンです。作法や仏事の再確認にもなって、皆さん楽しく参加してくださいました。

仏教婦人会によるバザーも大好評です。皆さま、ようこそようこそのご参拝でした。





# お寺座ライブ

七月十七日

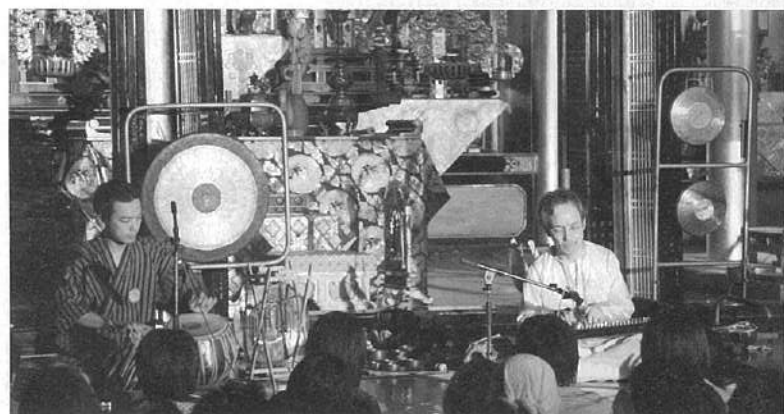
お寺や仏教を身近に感じてほしいという願いのもと、お寺に集まる若者たちと音楽イベントを企画し、夢を語る会・花の会の協力を得て「お寺座ライブ」を催しました。当日は雨にもかかわらず若者を中心に二百五十人ほどの方たちが参加。弘雄介さんは先代隆弘への想いをいろんな楽器を用いて表現し、無類の温泉好きのサワサキヨシヒロさんは温泉と浄土をかけて電子音楽、曾我部恵一さんは愛を歌い、おまけびとさんは仏教の心を歌いました。間には住職の法話、ラストは法要を勤めました。半数以上がアンケートにご協力くださり、早くも次回を期待した声が多数。公演後もメール連絡がいくつもあり、お寺に参拝する方もおられました。以下、アンケートより、お寺に関連する

感想を一部抜粋。

○お寺の中でのライブはまったくりしていて楽しかったです○お寺と音楽のコラボはおもしろかったと思います○お香のかおりがよかった○若者もお寺に近づきよい企画でした○読経がすげえ！鳥肌が立った○雰囲気がよくてココロがまったり落ち着きました○非常に親しみやすくて話を聞かせてもらいました○普段お寺に来ることがないのですごく新鮮で、かつ落ち着きました○とても新鮮で不思議な空間、楽しかったです○仏教をすごくかたいものだと思っていたのですが身近で心にゆとりを与えてくれるものだと感じました○来ている方たちのまったりしたムードと笑顔が印象的でした○何かあったか



一番乗りは三時間前でした。



寺  
こよみ

十一月

## 空華忌

|    |        |
|----|--------|
| 一日 | 愛本新お講  |
| 二日 | 順昌寺報恩講 |
| 三日 | 中新報恩講  |
| 四日 | 空華忌準備  |
| 五日 | 午後一時   |
| 六日 | 午後七時   |
| 七日 | 午後十時   |
| 八日 | 午後一時   |

|     |        |
|-----|--------|
| 七日  | 板屋報恩講  |
| 八日  | 発願寺報恩講 |
| 九日  | 石田報恩講  |
| 一〇日 | 上野報恩講  |
| 一一日 | 浦山新お講  |
| 一二日 | 出報恩講   |
| 一三日 | 析沢報恩講  |
| 一四日 | 中陣報恩講  |
| 一五日 | 浦山新報恩講 |
| 一六日 |        |
| 一七日 |        |
| 一八日 |        |
| 一九日 |        |
| 二〇日 |        |
| 二一日 |        |
| 二二日 |        |
| 二三日 |        |
| 二四日 |        |
| 二五日 |        |
| 二六日 |        |
| 二七日 |        |
| 二八日 |        |
| 二九日 |        |
| 三〇日 |        |



くなりました○お坊さんがすごく近く感じられた○年配の方もいらつしやつて混ぜこぜがよかったです○読経の時に座っておられた方が手を合わせているのが印象的でした。



終了後しばらく本堂でくつろぐ若者たち

30分前に開場。先着順に前からつめていきます。



- |      |         |
|------|---------|
| 三十一日 | 除夜会     |
| 三十日  | 日校もちつき  |
| 二十九日 | 米とぎ     |
| 二七日  | 音沢報恩講   |
| 二五日  | 音沢報恩講   |
| 二二日  | 音沢報恩講   |
| 一九日  | 音沢報恩講   |
| 一八日  | 内山報恩講   |
| 一六日  | 浦山お講    |
| 一五日  | 下立愛本報恩講 |
| 一三日  | 下立愛本報恩講 |
| 一二日  | 下村報恩講   |
| 一〇日  | 清掃奉仕    |
| 八日   | 大橋下村報恩講 |
| 七日   | 大橋下村報恩講 |
| 六日   | 赤田報恩講   |
| 五日   | 愛本新中ノ口  |
| 四日   | 愛本新報恩講  |
| 一日   | 下立愛本お講  |

寺  
こよみ  
十二月

## 報 恩 講

浄土真宗で最も  
大切な法要です。

十月十九日 午後一時半 お速夜

午後七時 お初夜

二十日 午前十時 お日中

午後一時半 ご満座

発願寺住職 川崎順正師

\*十九日夜は絵解き説法です。

## 空 華 忌

善巧寺限定の最も  
大切な法要です。

十一月四日 午後七時 お初夜

五日 午前十時 お日中

午後一時 ご満座

本願寺派司教 天岸浄圓師

\*今年は大阪行信教校の学生さん達が参拝されます。仏教を学ぶ若き僧侶方と共に手を合わせましょう。

聞法の秋です。どうぞ  
どうぞお参りください。

## ほんこさま

十月五日、栗虫地区か

今年から日程が多少違う地区がありますので、お気をつけください。年に一度のほんこさま、大切にお勤めいたしましょう。

## 報恩講準備

十月九日 午前八時半 清掃奉仕

十一日 午前八時半 お道具磨

十七日 午前八時半 米とぎ

十八日 午前八時半 お華束・掃除

## 空華忌準備

十一月三日 午前八時半 お華束

屋内清掃

## 越冬清掃奉仕

(雨天順延)

十二月十日 午前八時半

## 日曜学校 もちつき大会

十二月三十日 午前十時



## 除 夜 会

一月一日 午前〇時

恒例の除夜の鐘は〇時と同時に撞きはじめます。一月一日、朝のお勤めは六時。年頭ご挨拶は朝から夕方までお待ちしております。まだ恒例行事に入れていない方も、是非一度お顔を見せください。

## 合 掌

この八月、善巧寺は年中行事の抜けた寂しい夏になりました。七月三十一日副住職教隆が京都で事故に遭い全身を強く打撲。生命が危ぶまれた一カ月。お寺に關してのことは法輪寺さんと照行寺さんにお任せして、病院につめておりました。九月に入って目が見える、聞こえる、話せる、動けることを喜べるようになりましたが、今しばらく京都滞在時間が多くなりますことどうかお許しください。

\* \* \*

みなさまもいつ何時なにが起ころかわかりません。いのちのありよう、いのちの方向、子や孫に伝えるべきこと。どうぞ元氣なうちに時間を割いてお法をお聞きください。

